

# 八 幡 の 風

## 制服の見直し検討について(その2)

7月20日発行の「八幡の風」第7号でもお知らせしましたが、東観中学校では制服の見直しを進めています。このことについて、今回の取組の概要と、現在の進み具合や今後の予定について紹介します。



### 【現在の制服は？】

まず現在の東観中学校の制服の状況ですが、冬服は『学生服セット（詰襟学生服）』と『スーツセット（ブレザーとスカート）』、夏服は『スラックスセット』と『スカートセット』があり、そのどちらかを着用することになっています。

特に男女で指定はしていませんが、『学生服セット』『スラックスセット』は男子、『スーツセット』『スカートセット』は女子が着用することを想定して作られていることから、事実上、男女別の制服となっています。

### 【経緯は？】

この現在の制服に対し、以前から、『男子もブレザーにしてほしい』、『女子もスラックスを着用したい』といった声がありました。

女子がスラックスを着用することを妨げる決まりはありませんが、現状では男子用の学生ズボンしか認められないこともあり、実際にスラックスを着用する女子はいません。

一方で、近年ジェンダーレスの考え方が進む中、津市内の中学校においても制服を見直す傾向があり、東観中学校もその時期にきていると考えられます。

### 【目的は？】

そこで、東観中学校では、生徒や保護者の声に応えるとともに、社会の変化に対応するために、現在の制服を見直すこととしました。

見直しの方向性としては、男子のブレザー化と、女子のスラックス着用の柔軟化を中心とし、令和5年度からの導入を目指すこととしました。

### 【進め方は？】

この見直しを進めるにあたり、業者との連絡等は学校教職員が担いますが、制服のデザイン選択やネームなど装飾の検討、また制服に係る校則の見直し等については、生徒や生徒会の意見が尊重、反映されるように進めます。

7月20日に、生徒会本部役員により、候補となる生地を検討をしました。

専門業者に準備してもらった、複数の生地を比較しながら、特にスカート・スラックスの候補となる柄について意見を出し合いました。生徒会本部役員たちは、「中学生らしい」「受験に適した」「東観中学校のイメージにあった」といったキーワードを出し合いながら、2種類の柄に絞り込みました。



候補となる2種類の柄と現行のものとを比較し全校生徒に観てもらうため、8月中に制服のサンプルを作成していただくよう専門業者にお願いすることにしました。

8月。業者によるサンプルの作製。



9月に入り、絞り込んだ2種類の生地で作った制服のサンプルを着せたマネキン見本が届いたので、現行のものと比較して校内展示することになりました。

まずは新館2階の少人数教室に展示し、3年生から見学できるようにしました。その後、場所と期間を変えながら、2年生、1年生と順に展示をしています。マネキンの移動や設置は生徒会本部役員が行いました。



展示後の生徒アンケートにより、スラックス・スカートの生地を決定していく予定です。また今後は、その他ネーム等の装飾、新しい制服導入にあたってのルールづくり等を進めていく予定です。

保護者の皆様に対しましては、こうして学校だよりにて進捗状況をお知らせする他、今後実施する予定のフリー参観等の機会に、実際に制服のサンプルを観ていただくなどの場を設けたいと考えています。

本来であれば、保護者の皆様お一人おひとりからも、ご意見を頂戴しながら検討を進めるのがベストではありますが、このように生徒たちと進めさせていただきますことをご了解いただきたいと思います。